



# 町長回誌 No.138

町長日誌の第138号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆様のご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

4月14日(火) PM2:30

さて、この町長日誌も3期目最後の日誌となりました。4年間本当にお世話になりました。皆様のご支援ご協力に対しこの紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。今月21日が町長・町議選挙の告示日となり選挙戦がスタートしますが、町長の任期4年間は当選した年の5月1日から始まり、終わりは改選期の4月末日までとなります。従って、現在の3期目の任期は4月30日までと言うことです。

ところで皆さん、私は「何代目の町長なのか」ご存知ですか？

興部は昭和26年4月1日に「興部村」から「興部町」になりました。そのスタートの町長がそれまで村長であった「多田輝利」さんです。しかし、多田さんはその年の道議会議員選挙に出馬したため3日間で辞任して同年4月23日には桑辺長太郎さんが2代目の町長になりました。桑辺さんは3期12年町長を務められましたが道議会選挙出馬のため昭和38年4月1日に辞職され、後任は河原太次郎さんが当選し3代目の町長に就任され、昭和50年4月まで3期12年務められました。その後は元助役であった神山友視さんが河原さんの4選を阻止して町長に就かれ3期12年務められました。神山さんが4代目の町長です。昭和62年には安藤正雄さんが5代目の町長に就任され2期8年務められました。そして平成7年に安藤さんの3選を阻止したのが6代目の桑辺博崇前町長で2期8年務められ勇退されたのが平成15年でした。親子2代で町長を務められたわけです。そして、その年の5月1日に私が7代目の町長に就任させて頂きました。因みに、町長室隣の会議室にはこの6人の町長の肖像画額が掛けられています。ですから、実務的に初代町長はと言えば桑辺長太郎さんと言うことになるのですが、村から町に昇格させた多田さんは僅か3日でも偉大な初代町長なのだと思います。この様に、興部町になって今年で66年の歴史を刻んでいるのですが、私は「7代目」の町長が答えとなります。

それから、現在改築を検討しています新興部中学校は平成30年4月開校の予定ですが、この平成30年は北海道150年、興部町の開基130年と節目の年になります。

3月29日(日)

昨年から建設が進められていた国保病院の落成式が快晴のなか武部衆議院議員、名寄市立総合病院泉院長をはじめとする来賓多数がご臨席のなか、式典・テープカット・昼食会を無事に行う事ができました。今迄の66床から50床と小さくなりましたが、名寄・遠軽・広域紋別の2次病院と連携した地域医療をまかなう拠点が完成しました。看護師さんたちの仕事も手書きからパソコンを使う電子カルテ方式に変更しましたので、特に入院病棟では悪戦苦闘が続いていますが、暫くの間何卒ご協力をお願いいたします。今迄34床あった療養病床は18床に減りましたが、最近西興部の特養から検査・入院する方も多くより一層の連携強化をはかりたいと考えています。

4月14日(火)

今日午後、今年度の山火予防対策協議会の会議が行われ今年度の山火のパトロールや発見した時の通報方法などについて確認をさせて頂きました。山火については5月1日から6月15日までを「予防強化期間」として巡回活動などを行いますので皆さんも、山菜取りやハイキングなどで入山する時には火の始末にご注意をお願いします。因みに、山火を発見した時は**119番**にすぐ電話してください。

町長日誌も138号を数えますが、年数にして11年6ヶ月に亘り毎月書かせて頂きました。道内で似たようなコラムを書いている後輩の首長さんもいます。

私は、普段の町長の仕事や町長はどんなことを考えて町政に携わっているかを知ってもらいたいと思いこの日誌を始めました。許されるなら今後も続けたいと考えますが、まずは、4月21日の告示・選挙を経てからと考えています。4年間本当にお世話になりました。出来れば、では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、町役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務厚生係まで。TEL 82・2131です。